

別記様式(第4条関係)

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回加東市学校給食センター運営委員会
開催日時	令和5年3月3日(金)午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	加東市学校給食センター 会議室
議長の氏名 (委員長 後藤浩美)	
出席及び欠席委員の氏名	
【出席委員】 7名	
森下智行委員 後藤浩美委員 大江みさ子委員 藤原良二委員 長谷川昌美委員	
山中元委員 藤原正典委員	
【欠席委員】 2名	
説明のため出席した者の職氏名	
なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
教育長	藤原哲史
教育振興部長	田中孝明
教育振興部教育総務課長	前中公和
教育総務課学校給食センター所長	大久保めぐみ
同 主査	堀内千穂
同 栄養教諭	中野芽依
同 栄養教諭	田路永子
同 栄養教諭	丸山莉穂
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	
1. <議題及び会議の結果>	
【審議の概要】	
第1号議案 令和4年度学校給食センター事業報告	

・承認

第2号議案 令和4年度学校給食費の状況

・承認

第3号議案 令和5年度学校給食センター事業計画（案）

・承認

第4号議案 令和5年度学校給食予算（当初）

・承認

2. ≪会議の経過≫

【開会】

・あいさつ 後藤浩美委員長、藤原哲史教育長

【議事】

事務局：本日の運営委員会は、出席委員7名、欠席委員2名で、過半数の出席をいただいております。学校給食センター規則第13条第2項の規定に基づき会議は成立いたします。会議の進行は、委員長が務めることになっておりますので後藤委員長に進行をお願いいたします。

議長：議事が円滑に進行しますように皆様のご協力をよろしくお願いいたします。進行に当たり、事務局の説明については、時間短縮を図るため要点のみの簡潔な内容でお願いいたします。委員の皆様には、ご不明な点等ございましたら、遠慮なくご質問ご意見をいただきますようお願いいたします。第1号議案令和4年度学校給食センター事業報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：（資料を用いて説明）

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：（発言なし）

議長：意見がないため第1号議案について承認でよろしいですか。

委員：（承認）

議長：第2号議案令和4年度学校給食費の状況について説明をお願いします。

事務局：（資料を用いて説明）

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：（発言なし）

議長：意見がないため第2号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：第3号議案令和5年度学校給食センター事業計画(案)について説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第3号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：第4号議案令和5年度学校給食予算(当初)について説明をお願いします。

事務局：(資料を用いて説明)

議長：ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

委員：(発言なし)

議長：意見がないため第4号議案について承認でよろしいですか。

委員：(承認)

議長：以上で決議事項についてはすべて承認となりました。進行を事務局にお返しします。ありがとうございました。

事務局：皆さまにお集まりいただいておりますので、本日の議事以外のことでも結構ですから、委員の皆様からお一人ずつご意見等を頂戴できればと思います。

委員：今日はパンの日だったので懐かしかったです。多分皆さんの中では私が一番年上だと思うので、給食はご飯ではなくパンばかりで、そのときの給食を思い出しました。聞き忘れたのですが、最近、物価が非常に高騰しているのですが給食費は上がらないのですか。

事務局：本来でしたら食材費分を保護者からいただかないといけないのですが、市の方針の子育て支援の一つとして、値上げをせずに市費で賄い、保護者に負担を掛けず子どもたちに栄養価のあるものを食べさせたいということで、実は平成8年度から金額を上げていません。県下で一番安い給食費だということを、もっとPRしていきたいと思っています。

委員：それは良いことと思うのですが、昨日のニュースでは卵の価格が2倍になり、使える食材が段々と少なくなり、外食でもこのメニューをやめたとか減らしたとか、そうなるとう結局、使いたい食材が使えないとか同じものを使うとなっても倍の値段だと使えないと

か、市がある程度補填してくれると思うのですが、そういうことはあるのですか。

事務局：栄養教諭とも話をしたのですが、食材が値上がりをすることによって、これまで使えていた食材が使えなくなっているという実態があるのを聞いています。材料費の高騰分については、市の一般財源を活用できるように教育委員会からたのんでおくので、できるだけいい食材を使って給食を作るようにしてくださいと伝えたところです。そういう方針でもって、できるだけ給食の献立に影響がないように、安心して提供できるよう取り組んでいます。

委員：先ほど教育長が話されたように、今日の午前中に6年生を送る会がありました。その中で子どもたちがクイズを出したりするのですが、「6年生が一番好きな給食は何でしょう。」を絶対言います。学校給食が子どもたちにとってはなくてはならないものなのですね。大事な生活の一部だから、必ず給食の話が出てきます。私はいつもこの時期は校長室で6年生の子どもたちと給食でランチします。少ない人数でやっています。目的は2つあって、1つは6年間の学校生活を振り返っていろいろな話をするかけがえのない時間を持つということと、もう1つは子どもたちが6年間の給食でどういう食事の仕方をしているのかを見たくてやっていますが、6年生は給食を残す子がいません。毎回2人ずつ見ているのですが完食です。いつも全部食べてる？って、聞くと全部残さないで食べていると。ちっちゃい時はどうだった？って、聞くと残していたとか、ちょっと時間がなくて食べられなかったとか、苦手なものがあったとかそう言いますが、給食で何回も何回も食べているうちに食べられるようになったと話をしてくれます。何が一番好き？という話もよくするのですが、その話をしていると子どもたちは学校給食に育ててもらっているなということを実感できて嬉しいです。今年度の事業報告を見せていただいたら様々な取り組みが工夫されています。滝野南小学校は食育の指定を受けていましたので、これ以外にも様々な学習で何度か栄養教諭に来てもらったことによって、食に対する関心が子どもたちに高まっていて、こういうことを引き続きやっていかないといけないなと思っています。いつもありがとうございます。

委員：いつもここへ来ると残菜の話をしてしまうのですが、1年間ずっと心を痛めながら何とかならないのかと思いがらきてしまいました。先生たちに話を聞くと、コロナ対策で、今の3年生が1年生の時に、残していいからこの時間に終わらしましょうとか、友だちとやり取りしたら駄目ですよということでスタートした習慣というのはやはり大きいと

言います。変わってきているからそれだけではないと思うのですが、習慣であるとかこれが当たり前というようなことが大きいと感じます。特に、この食生活、食習慣というのは一生ついて回ってくることなので、理屈としてはおそらく分かっているのだろうとは思いますが、それが実際の生活の中に活かせるような取り組みをしていかないといけません。いろんな側面からもっと給食のことを子どもたちと一緒に考えることができるなど、今日の資料を見ながら、お金のこと、生産者さんの思い、それから調理してくださる調理員さんたちの思いとか。トライやるで給食センターに行った生徒が残菜の量の多さを実際に見て、「あれはいけない。」と学校に帰ってきてしっかり言っていました。何かそういうことも学びながら、来年度もみんなが美味しくたくさん食べられるように取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

委員：息子がもう中学3年なので給食から離れることになります。今までの給食があつてこそと思うのが、高校に上がるとお昼はお弁当を作って持たせないといけないのが今後の私の課題になります。今日の資料にもたくさん書いてあるので栄養面とかを気にして朝から用意しないといけないんだなと思っている次第です。また、大人になってから気付くことがたくさんあつて、食生活で起こり得る大人になってからの病気といえますか、大人になってからあの頃もっと気を付けていればとか、そういうこともあると思えますので、小学校、中学校の小さい時からそういう話を聞く機会が増えれば、その子どもたちの成長後もまた違ってくるのかなと思ったりもします。私がこの会議に参加して気付けたこともたくさんありましたので、いい機会をいただきありがとうございました。

委員：この委員会に参加したことで学校給食の内情がよく分かり、委員なってよかったと思いました。一保護者としては、うちの子どもが給食ですき焼きがめちゃくちゃ美味しかったって言っていた理由がわかりました。なるほどと思いました。

事務局：皆様の貴重なご意見をありがとうございました。

【閉会】

・あいさつ 大江みさ子副委員長